

仕 様 書

- 1 件 名 : 沖縄 IT 津梁パーク企業立地促進センター防水遮熱修繕 (R7)
- 2 工 期 : 契約日の翌日から令和8年3月31日まで
※予算上の都合により上記工期末の延期は出来ないもので注意すること。
- 3 工事場所 : うるま市
- 4 工事内容 : 本工事は企業立地促進センターの屋上を防水遮熱する工事である。本工事により屋上に防水層を形成し、遮熱材料の効果により建物への熱の侵入を低減することを目的としている。
※工法はウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法 (通気緩衝工法) とする。ただし、立上り部については密着工法とする。
※使用する材料については発注者から承諾を得ること。
※元請業者、製造所の連署による保証書を監督員に提出すること。**保証期間は工事完成後10年**とする。
※工事契約後、発注者、受注者、管理事務所で着手会議を実施する。
- 5 施工箇所 : 別添図面参照
- 6 修繕内容 :
防水塗膜修繕
 - ① 下地処理 (既設防水層撤去・清掃・補修)
 - ② 接着剤塗り、通気緩衝シート張り
 - ③ ウレタンゴム系塗膜防水塗り (1 回目)
 - ④ ウレタンゴム系塗膜防水塗り (2 回目)
 - ⑤ 仕上塗料塗り (**遮熱タイプ**)

※50m²に1か所程度脱気装置を設けること。

※塗膜防水材は JIS A 6021 (建築用塗膜防水材) に適合するものを用いること。

※**トップコートは JIS K 5602 における日射反射率が近赤外領域において 50%以上のものを使用すること。**

防水層については遮熱仕様の材料を適用できる場合は遮熱仕様の材料を使用すること。

※ウレタンゴム系塗膜防水 1 回目、2 回目合わせて 3.0kg/m²、仕上塗料塗りで 0.2kg/m² を標準使用量とするが、これによらない場合は発注者の承諾を得ること。

※材料の使用量について計算書を発注者に提出すること。材料使用量が適切か確認するために空缶検収を行うので、適切な写真管理を行うこと。
- 7 その他 : 受注者は、工事の全部若しくはその主たる部分を本一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、発注者が認める場合についてはこの限り

でない。

- 8 提出書類 : ①工程表 契約締結後速やかに提出
②着手届 (現場代理人等通知書、工程表等含む)
契約締結後、工事着手までに提出
③完成通知書 工事完成後速やかに提出
④工事報告書 工事完成後速やかに提出
⑤数量報告書 調達した部品等の規格、写真、数量等を記載したもの
工事完成後速やかに提出
⑥引渡書 検査合格後速やかに提出
- 9 各種窓口 : ① 施設管理者 施設管理者 沖縄 I T 津梁パーク管理事務所 大城 (098-989-0153)
② 沖縄県担当者 沖縄県商工労働部 IT イノベーション推進課 米須
(098-866-2503)